

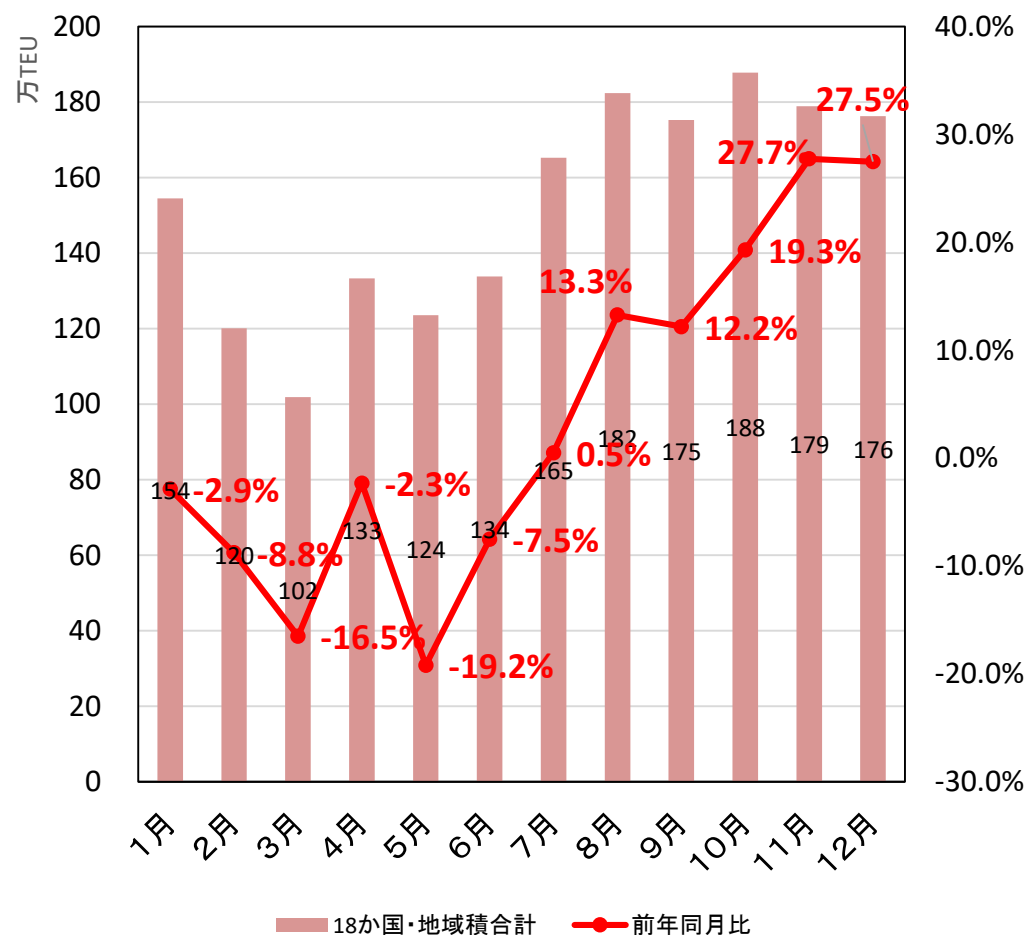
海上コンテナ物流を取り巻く最近の状況について

令和3年4月23日
国土交通省港湾局

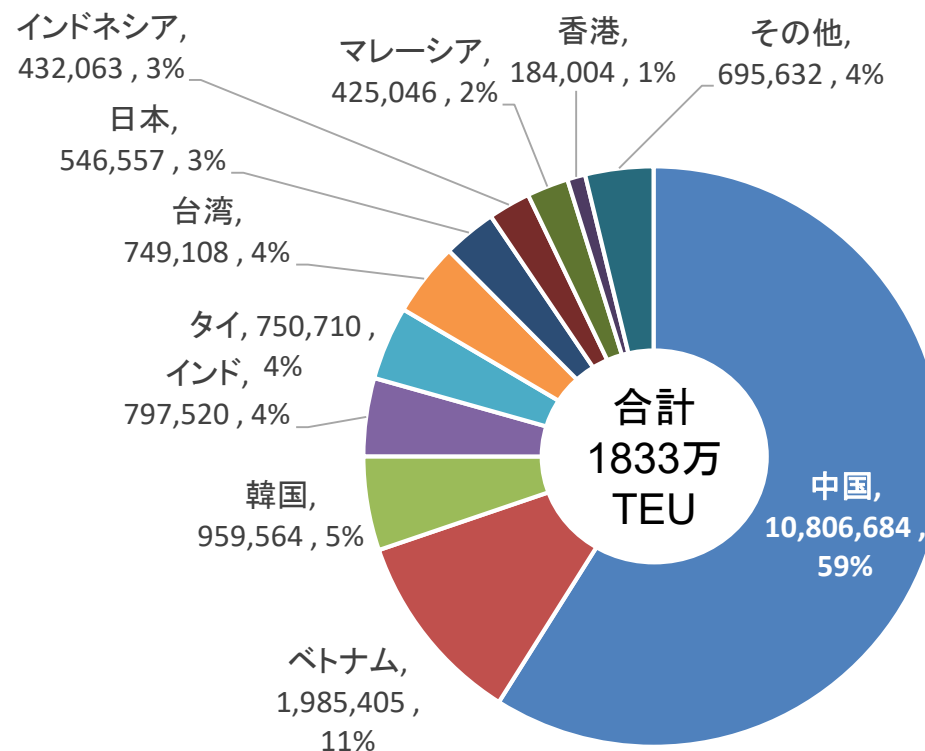
アジア→北米の海上コンテナ輸送量

○アジア→北米への海上コンテナ輸送について、2020年秋頃から対前年同月比3割増程度まで増加。

アジア→北米（2020年月別貨物量）



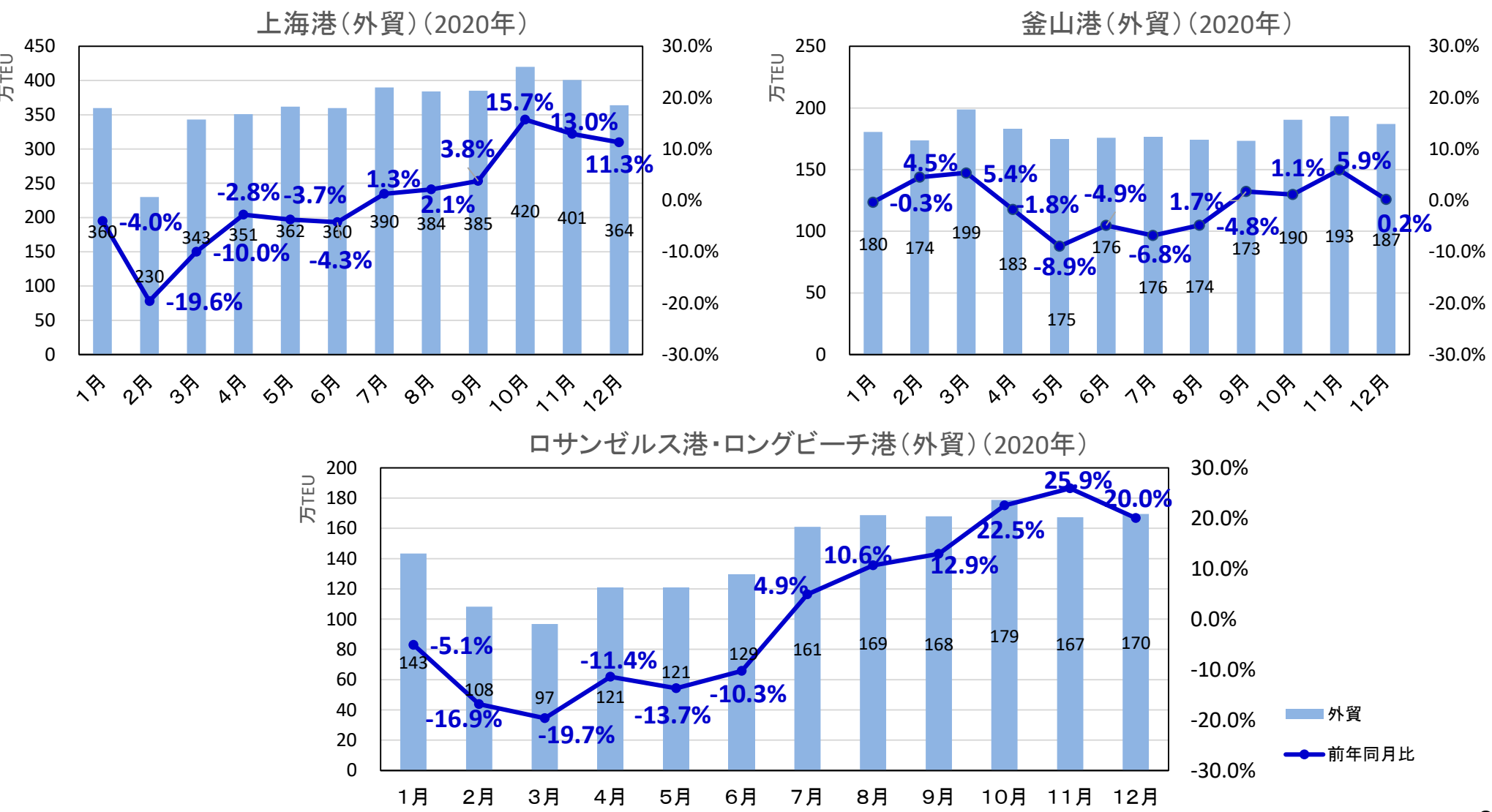
アジア→北米 積地別貨物量(2020年暦年)



注意) 実入りコンテナのみ計上。2019年は確定値であるものの、2020年値は速報値のため、値の変動がある可能性がある。
 ここで、アジアとは日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオ、シンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、インド、パキスタン、スリランカ、
 バングラディシュの計18か国・地域を対象としている。
 (出典)PIERSデータをもとに海事センターにて集計されたデータを用いて、国土交通省港湾局作成。

海外主要港のコンテナ輸送量(月別)

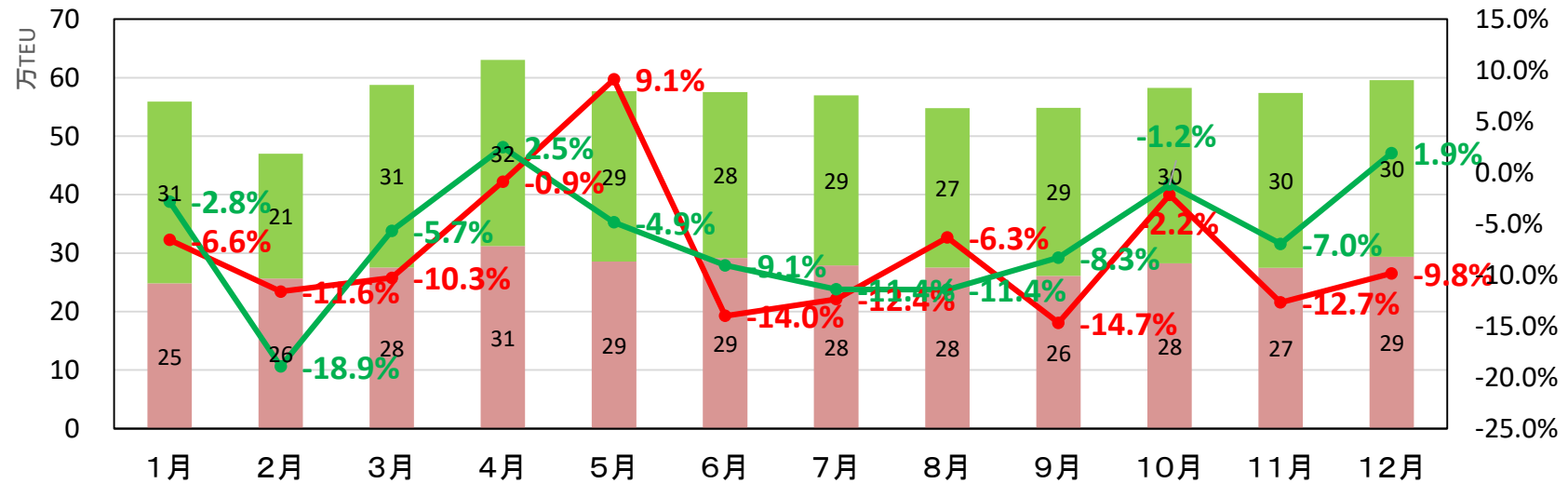
○2020年秋以降、上海港においては1割以上、ロサンゼルス・ロングビーチ港においては2割以上、貨物量が増加。



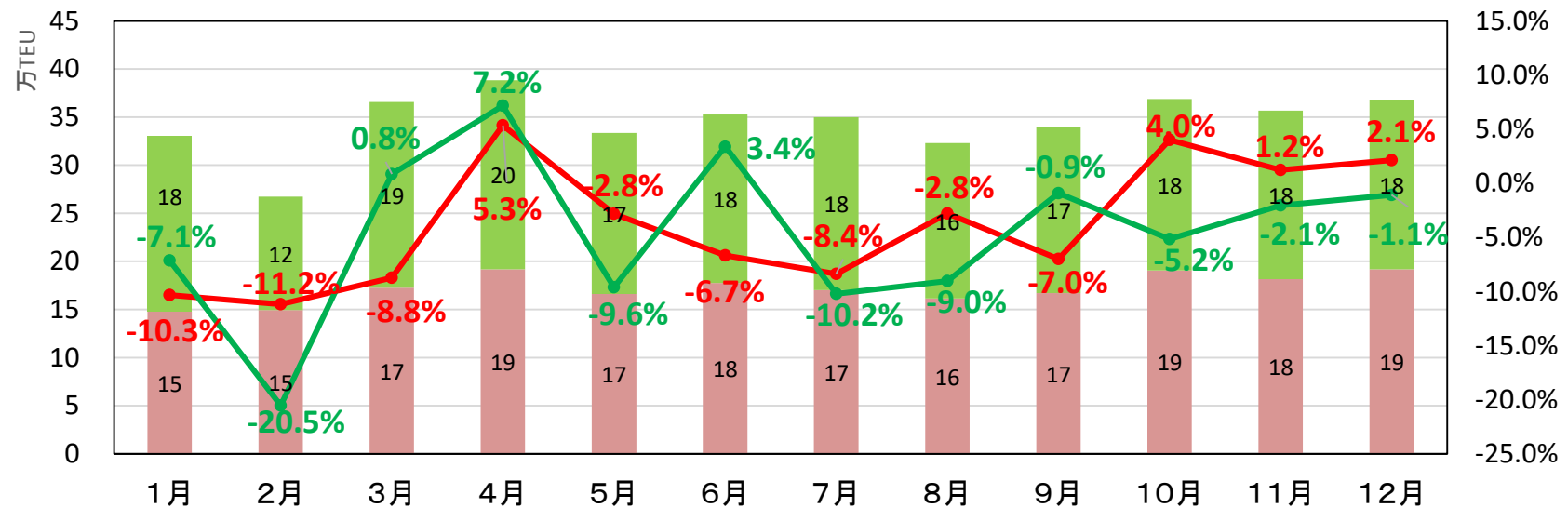
出典) 各港HP等より国土交通省港湾局作成。

我が国主要港のコンテナ輸送量(月別)

京浜港(2020年)



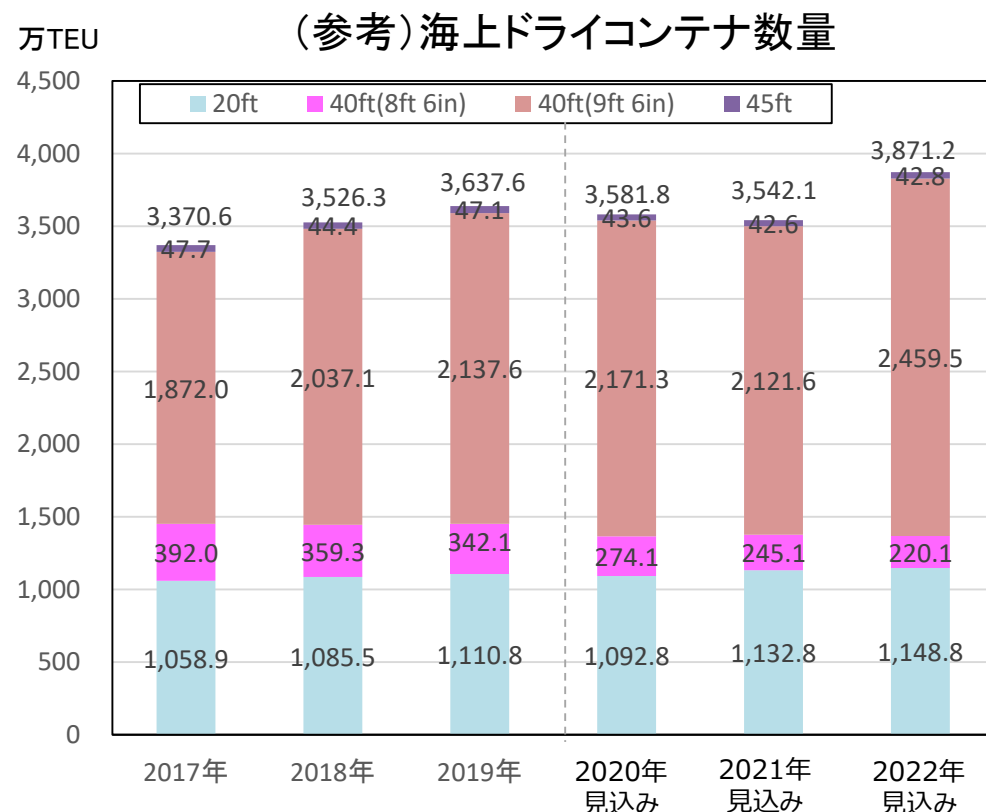
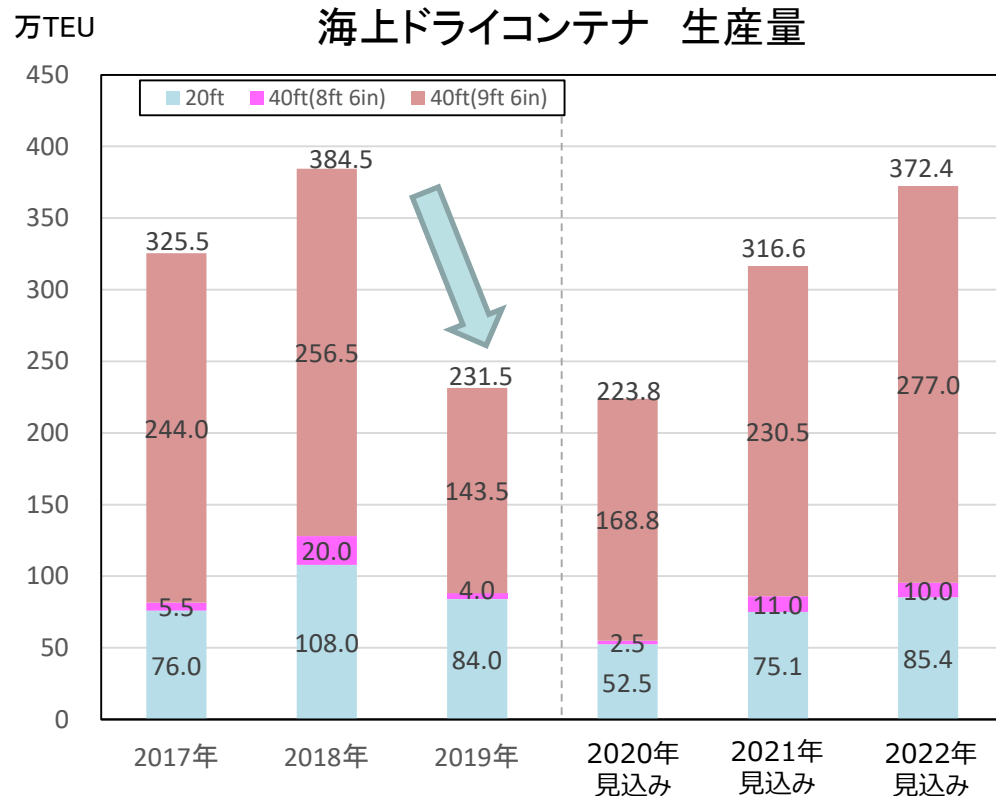
阪神港(2020年)



■ 輸出
 ■ 輸入
 —●— 前年同月比(輸出)
 —●— 前年同月比(輸入)

海上ドライコンテナの生産量

○2019年の海上ドライコンテナの生産量は前年4割減の231万TEU(米中貿易摩擦の影響により新造コンテナ発注への投資が抑制されたことが一因ともいわれている)。また、2020年においても新型コロナウイルス感染症の影響により生産量が概ね横ばいの見込み。



【コンテナの製造国】

コンテナの製造は世界の85%程度は、CIMC社、Shanghai Universal Logistics Equipment社、Singamas社、CIXC社の4大グループで製造されており、いずれも中国の会社。その他、4大グループ以外も含めると中国国内での生産は97.7%(2018年)、97.3%(2019年)になる。

新型コロナの影響による世界的なコンテナ輸送の混乱について

✓ 北米

① 巣ごもり需要によるコンテナ輸送の増加

- アマゾンとグーグル、最高益（2月3日時事通信）
- 北米東航1月単月最高168万TEU、16%増（2月15日 日本海事新聞）

② 港湾労働者・トラック運転者の不足

- 1月17日時点で、LA・LB港では、697人の港湾労働者が新型コロナに感染。その後は1,000人を超えたという。（2月5日日本海事新聞）

③ 港湾でのコンテナ船の滞船

- 本船着岸後の荷役開始まで10日前後かかるケースが目立っている。（2月9日マリタイムデイリー）
- LA・LB港：約14日待ち／41隻／2月1日時点
- オークランド港：10隻／2月8日時点
- バンクーバー港：最大15日待ち／2月12日時点
- FMC（米連邦海事委員会）は、船社などに対し、特に内陸向け貨物については比較的余裕のあるシアトル・タコマなどPNW港や北米東岸港へ一時シフトを呼びかけ。（2月9日海事プレス）

✓ 世界全体

① 定時運航率の低下

- コンテナ船の主要34航路における昨年12月単月の定時運航率は44.6%と2011年の調査開始以来、過去最低。（2月17日海事プレス）

✓ アジア

① コンテナ輸送の増加と空コンテナの不足

- 世界首位の上海港の1月のコンテナ取扱量は前年同月比11.9%増。1月実績として400万TEU超えは初。（2月19日海事プレス）
- 韓国と中国・華南や東南アジアを結ぶ航路において特に空コンテナの不足が深刻で、これらの航路に空コンテナの輸送を優先している。（2月4日海事プレス）

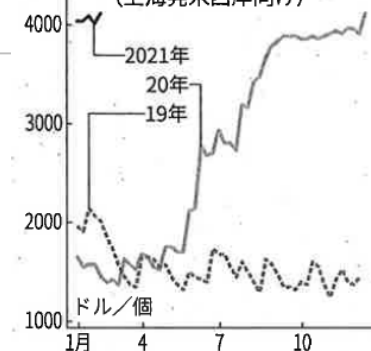
② 港湾でのコンテナ船の滞船

- シンガポール港：4～5日待ち／1月時点
- ポートクラン港：3～4日待ち／1月時点
- ベトナム・インドネシア：1～2日待ち／1月時点（2月9日 日本海事新聞）

③ コンテナ運賃の上昇

- 輸送需要が高く、運賃が高騰しているのは中国出し貨物であり、優先的にスペースが与えられている。（2月5日海事プレス）

コンテナ船運賃は昨夏から急騰
（上海発米西岸向け）



（注）40フィートコンテナ換算
（出所）上海航運交易所

② コンテナ運賃の上昇

- 今は世界中で船が足りていない状況。（2月4日海事プレス）

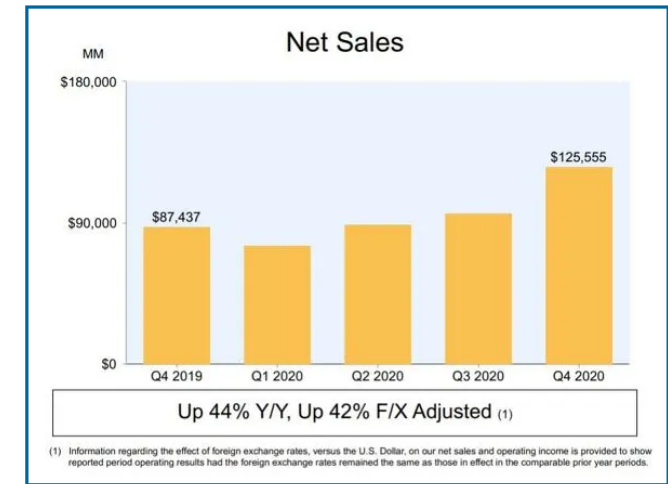
この状況は、2021年4－6月以降まで続く見通し（2月3日 日本海事新聞）

新型コロナの流行に伴う巣ごもり需要の増加

◆ アマゾン

Amazon.com、巣ごもり需要による大幅増収増益で過去最高に (2021年2月3日 IT media NEWS)

- ✓ 米Amazon.comは2月2日（現地時間）、2020年第4四半期（10～12月）の決算を発表した。
- ✓ コロナ禍の巣ごもり需要の高まりを受け、大幅な増収増益で、売上高、純利益ともに過去最高を更新した。売上高は初めて1000億ドルを超えた。
- ✓ 売上高は前年同期比44%増の1255億5500万ドル、純利益は2倍強の72億2200万ドル（1株当たり14ドル9セント）だった。売上高、1株当たり純利益ともにアナリスト予測（売上高は1197億ドル、1株当たり純利益は7ドル23セント）を大きく上回った。



売上高は初めて1000億ドルを超えた

◆ ソニー

最終利益1兆円超 去年12月までの決算 巣ごもり需要好調 (2021年2月3日 NHK NEWS WEB)

- ✓ ソニーの去年12月までの9か月間の決算は、最終的な利益が1兆600億円余りと、この期間として初めて1兆円を超えて過去最高となった。
- ✓ いわゆる巣ごもり需要でゲームソフトや音楽の配信が好調だったことなどが利益を押し上げた。
- ✓ 会社は、ことし3月までの1年間の業績予想を上方修正し、売り上げが8兆8000億円、最終的な利益が1兆850億円と、1年間の決算としても過去最高となる見通しを示した。
- ✓ ソニーの十時裕樹CFOは、オンラインで開いた決算会見で「個々の事業が強くなったことは間違いなく、去年11月に発売したプレイステーション5も非常に強い需要がある。今後もエンターテインメントの分野に力を入れている」と述べた。

コンテナ輸送の混乱への国内の関係者の取組例

➤ 船社

■ ONEによる北米西岸向け臨時船の投入

✓ 投入船：「Brevik Bridge」（4,520TEU）

✓ スケジュール：

神戸(2/22)－名古屋(2/23)－東京(2/24)－タコマ
(3/5)－オークランド(3/11-13)－東京－名古屋－
神戸

(2月10日 日本海事新聞)

■ ワンハイによる名古屋港における取組

✓ ワンハイラインズは、2月末から名古屋港の空コンテナの早期リリースを制限。

(2月24日マリタイムデیلیーニュース)

➤ 港湾

■ 鍋田CTのヤード逼迫に伴うNUCTの要求

✓ NUCTは、輸出コンテナの入港10日前搬入の厳守（遅延した入港日から起算）や輸入コンテナの早期搬出を要求。
(2月19日マリタイムデیلیーニュース)

➤ フォワーダー

✓ 日新は、中国シノトランスと協力し、武漢で積み替える日中欧シー&レールのルートを開発。

✓ 東洋トランスと阪急阪神エクスプレスは、TSRを活用した日本発欧州向け混載サービスを開始。

(2月24日 日本海事新聞)

➤ 国における対応

■ 要請文の発出（2月5日付）

✓ 要請元：国土交通省 大臣官房公共交通・物流政策審議官、海事局長、港湾局長（※ 連名による要請）

✓ 要請先：電子情報技術産業協会、日本経済団体連合会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本貿易会、日本機械輸出組合、日本商工会議所、国際フレイトフォワーダーズ協会、日本港運協会、日本物流団体連合会、日本ロジスティクスシステム協会、日本船主協会、外国船舶協会（13団体）

✓ 要請事項(例)：

荷主及び船社以外の物流事業者： 実入りの輸入コンテナの早期引取・空コンテナの早期返却 等

外航コンテナ船社： 臨時船の運航、日本発着貨物へのスペースの割当の確保、コンテナの新規調達増加 等

・要請文の発出後、外航コンテナ船社、荷主団体・企業との意見交換を実施(2～3月)。

・よりきめ細かな実態把握や国への要望事項の確認を行うとともに、要請文を踏まえた協力を要請。